

# 2020年12月期第3四半期 決算補足説明資料

---

井関農機株式会社

2020年11月12日

1. 2020年12月期第3四半期業績の概要
2. 2020年12月期 業績予想

# 1. 2020年12月期第3四半期 業績の概要

## <国内>

新型コロナウイルス影響による展示会中止をはじめとする営業活動自粛  
および消費税増税前駆け込み需要の反動減などにより減収

## <海外>

- 北米 : 新型コロナウイルス影響によるトラクタの巣ごもり特需はあったものの、上期までの仕入エンジン入荷遅れに伴うOEM先への出荷減影響により減収
- 欧州 : 足許では回復傾向も春先のロックダウンで現地代理店一時閉鎖等により現地売上が伸びず、当社およびフランス販売子会社からの出荷影響が残り減収
- 中国 : 引き続き田植機が好調に推移
- アセアン : インドネシア入札の減少により減収
- アジア : 韓国、台湾が好調に推移

## <新型コロナウイルス影響(当社分析)>

売上高影響額: 国内△28億円、海外△7億円、計△35億円

# 連結業績の概要

(2020年1月1日～2020年9月30日)

(単位: 億円、%)

	19/12期		20/12期		前年同期比
	3Q実績	比率	3Q実績	比率	
売上高	1,210	100.0	1,116	100.0	△ 94
(国内)	960	79.3	874	78.3	△ 86
(海外)	250	20.7	242	21.7	△ 8
営業利益	45	3.7	32	2.8	△ 13
経常利益	32	2.7	28	2.5	△ 4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	1.8	24	2.2	+ 3
為替平均 レート (円)	米ドル	109.6	107.7	△1.9	
	ユーロ	123.2	120.6	△2.6	

# 国内売上高



前年同期比  
△86億円

農機製品・作業機は、消費増税前駆け込み需要の反動減と新型コロナウイルス影響により減収、部品・修理収入は堅調に推移したものの全体では減収

(単位:億円)

		19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比	
					備考
農機 製品 関連	整地機	213	173	△ 40	トラクタ:△37
	栽培機	80	64	△ 16	田植機:△15
	収穫調製機	141	120	△ 21	コンバイン:△16
	小計	434	357	△ 77	
	作業機	172	153	△ 19	
	部品	118	120	+ 2	
	修理収入	44	44	+ 0	
	小計	334	317	△ 17	
	計	768	674	△ 94	
	施設工事	40	56	+ 16	
その他農業関連	152	144	△ 8		
合計	960	874	△ 86		

## 主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品は、消費増税前駆け込み需要の反動減、新型コロナウイルス影響による展示会中止や営業活動自粛により77億円の減収  
作業機は農機製品の減少に連動し減収
- ✓ 部品売上、修理収入は引続き堅調に推移

■ 部品、修理収入推移  
(1~9月累計、億円)



# 海外売上高

前年同期比  
△8億円

韓国、台湾、中国向け売上が増加するも、北米、欧州、アセアンの減少により全体では減収

(単位:億円)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比	
				備考
北米	98	87	△ 11	トラクタ:△11
欧州	78	71	△ 7	トラクター:△1 芝刈機:△5
中国	1	6	+ 5	田植機:+5
アセアン	10	6	△ 4	トラクタ:△3 コンバイン:△1
その他	31	41	+ 10	トラクタ:+2 コンバイン:+8
製品計	218	211	△ 7	
部品その他	32	31	△ 1	
連結売上高合計	250	242	△ 8	

## 主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米 : トラクタの巣ごもり特需はあったものの、上期までのエンジン入荷遅れによる出荷減影響により減収
- ✓ 欧州 : 足許では回復傾向も、春先のロックダウン影響払拭出来ず減収
- ✓ 中国 : 引き続き田植機半製品出荷増により増収
- ✓ アセアン: インドネシア向けトラクタの減少により減収
- ✓ その他: 韓国および台湾向け出荷増により増収

# 営業利益



前年同期比

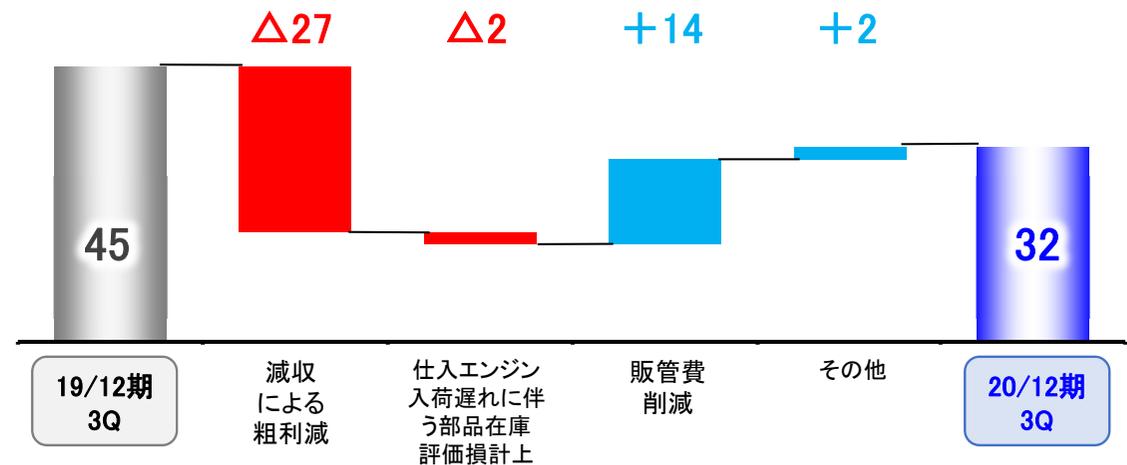
△13億円

販管費削減はあるものの減収による粗利益減少や部品在庫評価損計上等により前年同期比減益

(単位:億円、%)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比
売上高	1,210	1,116	△94
売上総利益	358	331	△27
粗利率	29.6%	29.7%	+0.1%
販管費	313	299	△14
人件費	184	180	△4
その他経費	129	119	△10
営業利益	45	32	△13

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
△2	△2	△0	+0

# 経常利益、四半期純利益

経常利益  
前年同期比  
△4億円

為替差損の縮小や、東風井関の収益改善および当社出資比率低下に伴う持分法投資損失の縮小等により減益幅を圧縮するも前年同期比減益

(単位:億円)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比
営業利益	45	32	△13
金融収支	△6	△5	+1
その他営業外損益	△7	+1	+8
経常利益	32	28	△4
特別利益	1	7	+6
特別損失	△2	△1	+1
税前利益	31	34	+3
税、税調整額	△10	△10	±0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	24	+3

## 営業外損益増減内訳(前年同期比)

持分法投資損失の縮小	+7億円
為替差損の縮小	+2億円

## ・ご参考)持分法関連

(単位:億円)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	増減
持分法投資損益 (営業外)	△10	△3	+7
持分変動損益 (特別)	-	7	+7

## 2. 2020年12月期 業績予想

# 2020年12月期 連結業績予想

## 業績 予想

・当第3四半期では、新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響は縮小しつつあるも、国内外では同感染症の再拡大が顕在化し、経済的影響は依然として不確実な状況  
⇒8月6日公表予想を据え置き、配当予想も未定を継続

### 1. 通期連結業績予想

(単位: 億円)

	19/12期 実績	20/12期 ※1 予想	増減 前期比
売上高	1,499	1,445	△54
(国内)	1,177	1,145	△32
(海外)	322	300	△22
営業利益	27	11	△16
経常利益	11	2	△9
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	2	△5
為替 レート(円)	米ドル 109	107	△2
	ユーロ 122	120	△2

※1: 2020年8月6日公表予想

### 2. 配当予想

(単位: 円)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 ※2 予想
期末配当	30	30	未定

※2: 2020年5月15日公表予想

# 将来の見通しに関する記述についての注意

ISEKI

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

井関グループは、  
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。  
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。